



一般社団法人
宮城県理学療法士会
ニュース 2017 No.2
(通巻160号)

***** 目次 *****

巻頭言	1
会員状況のお知らせ	2
財務局からのお知らせ	3
事業局からのお知らせ	5
学術局からのお知らせ	8
教育局からのお知らせ	10
地区担当局からのお知らせ	11
政策検討委員会からのお知らせ	11
宮城県リハビリテーション専門職協会からのお知らせ	12
3職種リハ振興委員会からの報告	12
国際車いすテニス大会仙台オープン2017活動報告	13
作業療法フェスタ2017 OTってなあに？に参加して	14
地域包括ケア人材育成委員会からのお知らせ	15
「宮城県内部障害リハビリテーション研究会(MIRS)」 の活動報告	16
広報部広報班からのお知らせ	17
会員からのご寄稿	17

巻頭言

「成長する行動習慣を身に付けましょう」

会長 渡邊好孝

【他者からの評価を受け入れる】

先日、実家を片付けていたら筆筒の奥から小・中学校の通信簿が出てきました。各学年の担任の先生からのコメント欄を読んでもたら、今の私とあまり変わっていないことに驚いてしまいました。

振り返ればあの頃の性質のままなのに、その時々を脳が勝手に捏造した都合のよい指令に従い、年齢相応に演じていたつもりで過ごしてきたのかなとの思いに駆られました。

本当の自分自身はなかなか見付け難く、また認め難いものでもあります。改めて親しく交流してきた他者からの評価は素直に有難いものだと受け入れることができました。

【天性と習慣】

生物は生まれ持った天性(才能や性質)があるとされています。

その天性に人生が支配されていると思うとやっつけられない気分になりますが、悪しき行動を止め、好き行動を意識して継続させ、新たな習慣とし人生を切り開くことができるのは人間だけではないでしょうか。

天性に支配されている思考や行動習慣を第1の習慣とすれば、幼少期の家族との関りや、多感な青年期に出会った人々との関りの中で身に付いた習慣が第2の習慣と言えます。職業や家庭を持つと社会の中での様々な役割を担い、仕事上の立場や役職を経験します。そして、その都度、周囲を意識し自身の思考や行動を変えなければ

ならないことに直面します。そこで学習し習慣としたもの(自身がつくり出した習慣)が第3の習慣であると思います。自身の思考や行動の癖を知り、仕事や人生の目的と目標の

ためにアクセルを踏むかブレーキを踏むかの判断は、第3の習慣をブラッシュアップすることで未練のない決断はできるものだと思います。そうすれば、天性に支配されずに人生を書き換えていくことができるのではないのでしょうか。

【成長する人の習慣】

生きること頑張っていない人(生物)などはないはずなのに、なぜ成長する人とそうでない人が存在するのだろうか。

私の身近な成功者の類似点は、未来に不幸な姿をイメージして立ち止まっていない人。進むか退くかの判断が早い人。志や夢に向かって“できる方法”を考え行動する人。命が喜ぶ仕事をドキドキしながらワクワク・ウキウキやっている人。周りを喜ばして自身も喜んでいる人。過去の成功に拘らない人。いつまでも手にしたものを持ち続けなくて誰かに手放し、次のモノ・コトに着手する人。感性が豊かで美意識が高い人。料理の味の美味しさ以上の五感で感じる美味しさを知っている人。ワンマンだけど仲間を思い遣る気持ちが強い人。嫌な人との関係は継続しない人。気の置けない仲間内では感情露に怒るが、内心は冷静な人。良くない結果を他人に被けない人。他者の説得に屈せず、納得尽くまで行動する人。自身の業界外にも興味があり情報通な人。普段のお金は節約し、ここぞという時には大胆な使い方をする人。

これらの人達の共通点は、未来に向かって前向きで拵がりを持ち続けている人、そして自身の行動によって感情を支配できる人だと思います。

成功しない人はこの真逆で、常に未来に不幸なイメージを抱き現状維持をしたがる人。根拠の無い不安で行動せずに未来のリスク

を負わない人。自己責任で行動しない人など等。つまり、自身の感情が行動を支配することを許してしまう人なのだと思います。

成長する人の特徴は、自身の行動の間違いに気付いたら過去に縛られず、思考や行動を何度でも変えることができるのだと思います。

【習慣づくり】

尊敬できる人、成長している人を徹底的に真似て自分なりものとして身に付けるまで繰り返すことが習慣づくりには欠かせないものです。

誰もが人生や仕事にとって有益な書籍を読み、講演会や勉強会に出向いては、多くを学んで何かを見習っていると思います。

しかし、学んだ内容を復習し実践し

ていてもなかなか身に付かないのは、一時的なマイブームなので、いつの間にかフェードアウトしてしまうからではないでしょうか。

新たな“好い習慣”を身に付けるためには、志や夢を共有できる集団の中に身を置き、仲間と共に活動を繰り返すことが一番だと私は思っています。

自身にとって面倒くさいとか、いつかやらなければと意識はしていても行動していないことが、成長にとって大切なことではないでしょうか。

理学療法士として職能団体として、私たちが成長し続けるためには自己実現欲求を満たすための行動だけではなく、共同体感覚を持って社会全体を好くする働きをすることが大切です。

社会には手本として見習う人物が沢山おります。好い習慣を身に付け成長してまいりましょう。

会員状況のお知らせ

会員状況(平成29年9月18日現在)

会員数 1620人(休会者含む)

施設所属会員 1300人

自宅会員 201人

休会者 119人

施設数 296施設

平成29年度新入会・異動状況

新入会者 146人

異動状況(平成29年4月1日から9月18日まで)

県内異動 49件

転入 32件

転出 16件

休会 5件

任意退会 4件

* 重複あり

会員管理班からお願い

自宅住所の変更も含めて異動の際は申請をお願いいたします。

特に郵送物を“自宅”にされている会員の方は、引っ越し後の郵送物が届かなくなりますので早めに申請してください。

財務局からのお知らせ

平成29年度9月時点での宮城県の会費納入の状況をお知らせいたします。宮城県の会費未納率は全国平均よりも高い状況となっております。まだ会費をお支払いになられていない会員の方は、会費納入にご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

また、平成29年度、平成30年度会費について日本理学療法士協会より連絡が来ておりましたので、周知いたします。特に、来年の年会費から会費納入期限が変わりますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

平成29年度会費納入状況について

9月20日現在	宮城県会員数	会費未納者数	未納割合	※全国平均
	1,492名	121名	8.10%	7.59%

平成29年度会費の徴収スケジュールについて

今年度は下記のスケジュールにて会費払込用紙(コンビニ・郵便局の振込票)を協会事務局から発送させていただきます。対象会員の方はご確認の上、振込をお願いいたします。

- 平成29年度会費未納者に対する会費払込用紙送付予定
 - 平成29年9月6日発送開始 → 支払期限 平成29年11月3日
 - 平成29年11月8日発送開始 → 支払期限 平成29年12月31日
(※12月中に、平成30年度年会費のご案内を全会員へ送付します。)
 - 平成30年1月9日発送開始 → 支払期限 平成30年2月16日
※2月20日以降は、平成30年度年会費の請求が開始されるため合算となります。
- 平成29年度未納退会処理について
平成28年度分の年会費が未納の会員については、平成30年3月31日をもって退会とします。
- 納入期限に関わらず、楽天カード(または口座振替)を新規申込・登録された方は、過去未納分を含めて請求をいたします。ご登録の翌月もしくは翌々月の27日引落でのご請求となります。

新入会員(入会手続き中の会員)の会員権利停止について

会員番号ならびにマイページのID・パスワードを通知後、3か月以上経過しても回避決済方法の登録手続きをしていない会員(楽天カードまたは口座振替の手続きをしていない方)について、8/31付で権利停止の処理を実施いたしました。権利停止中は以下のサービスを停止いたします。

- ① 会報誌発送
- ② マイページからの研修会参加申込

※権利停止以前に申込されている研修会については受講可となります。

あくまで一時的な停止処理ですので、「退会」ではございません。楽天カードもしくは口座振替の登録を早急にされますよう、お願い致します。決済方法が登録され、入金確定した方から自動的に停止解除となります。

平成30年度会費納入期限について

一般社団法人 宮城県理学療法士会
財務局 局長 新山 正都

事業局からのお知らせ

①理学療法の日 全国統一介護予防・健康増進キャンペーン 2017 開催報告

今年も7月9日(日)にアリオ仙台泉にて「理学療法の日 全国統一介護予防・健康増進キャンペーン 2017」が開催されました。今年は例年取り組んでおります体力測定、作業療法士会、言語聴覚士会からの講話に加えて、仙台市で活動されている自主グループの皆様方のご協力も得て活動報告を行って頂きました。また、仙台市地域包括ケア推進課にもご協力頂き仙台市内で活動している自主グループの方々の活動報告(写真展示)を行って頂きました。今年度は昨年度までの取り組みに加えて、会場やステージ発表の内容等、新たな試みを取り入れつつ開催しましたが、参加して頂きました他団体の方々、当日運営にご協力頂きました県士会の皆様方のお蔭で盛況に終了する事が出来ました。感謝申し上げます、ありがとうございました。



—キャンペーンの風景—

②交流会開催報告

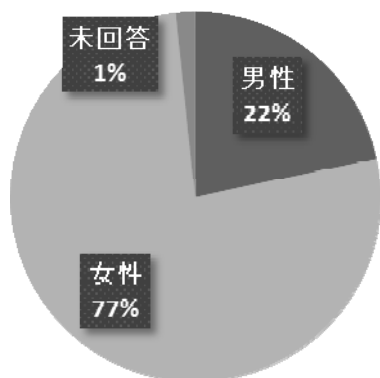
7月9日に宮城県理学療法士会交流会が開催されました。今年もたくさんのセラピストの方々に参加して頂き盛況に終える事が出来ました。また石巻地区でも交流会が開催されております。今後も宮城県理学療法士会全体または、地区ごとの交流会についても関係各所と協議し開催していきたいと考えております。

宮城県理学療法士会の会員数も増加し、全体で集合できる機会が少なくなっております。少しでも顔の見えるお交流が図れるよう企画していきたいと思っております。

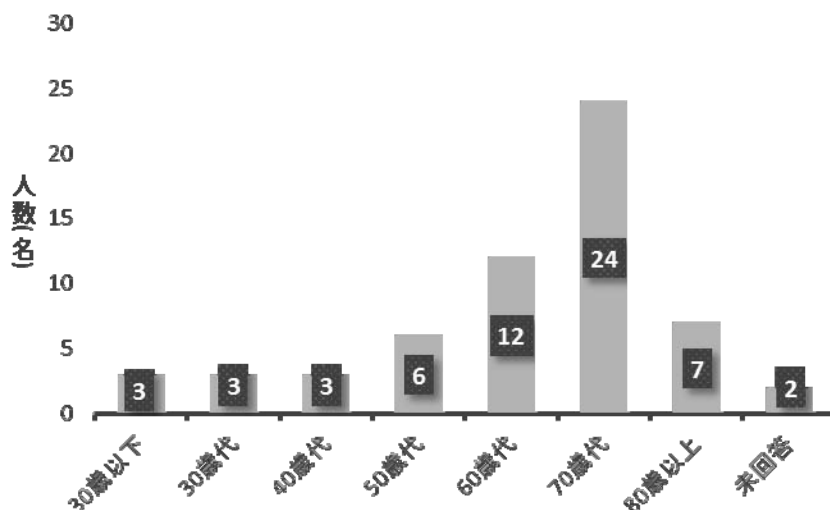
一般社団法人宮城県理学療法士会
事業局長 櫻井 健太郎

広報部では、このキャンペーンに参加していただいた宮城県民の方を対象にアンケートを実施してきました。アンケートの結果をご報告いたします。

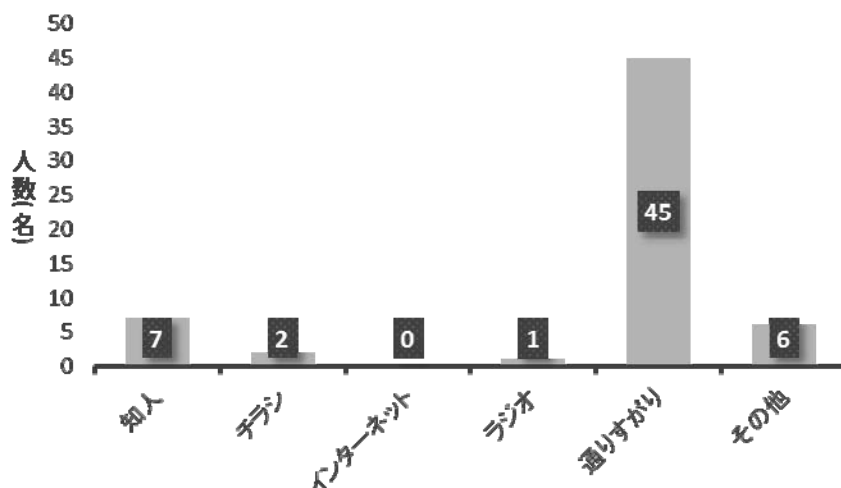
アンケート回答者男女比



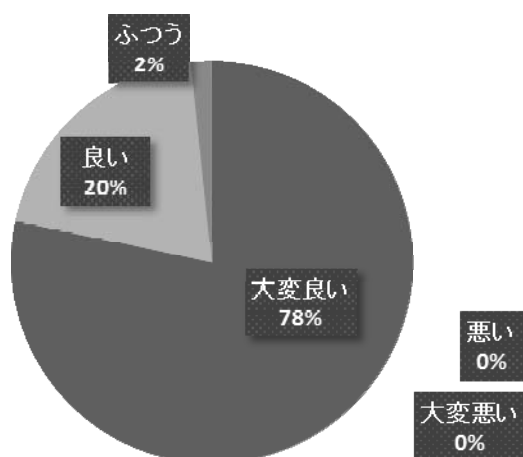
アンケート回答者年齢層



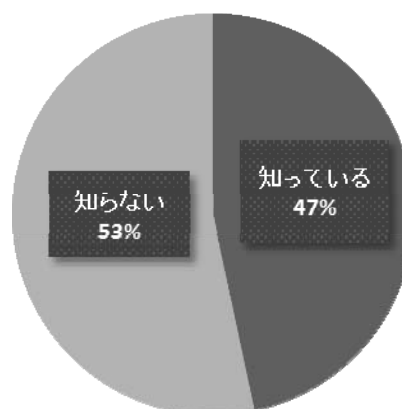
Q: イベントを知ったきっかけは何ですか



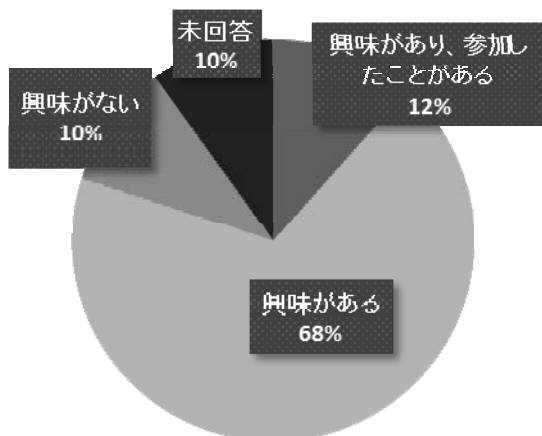
Q: スタッフの対応はいかがでしたか



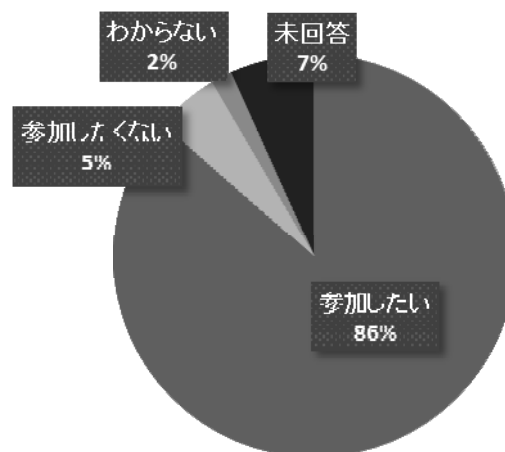
Q: 地域で介護予防教室を行っていることをご存知ですか



Q: 地域での介護予防教室に興味はありますか



Q: またこのようなイベントに参加したいと思いますか



Q: 体のことについて、どのような疑問・興味をお持ちですか。また、今後どのような内容の講話を聞いてみたいですか。

- ・病気予防を目的とした食事 ・自宅でどのような運動をしたらいいのかわからない ・膝や腰の痛み
- ・転倒予防のための生活の工夫 ・飲み込みが心配 ・むくみ ・認知症
- ・介護予防教室やサークルの参加方法や情報が何に掲載されているのかを知りたい など

Q: 参加された感想をお聞かせください。

- ・筋トレを習慣づけようと思いました。 ・自分の体の衰えにショックを受けました。
- ・定期的にこういったイベントで自らの状態を知ることができればいいと思った。
- ・興味深かったです。通りすがりとはいえとても勉強になりました。ありがとうございます。
- ・日頃知ることのできない測定値を知ることができたので良かった。運動の動機づけになった。
- ・オカリナの演奏の音が大きく、スタッフの声が聞きづらかった。
- ・本当に参加して良かったです。素晴らしい時間をありがとうございました。
- ・マスコミ等を活用し来場者数を多くすればいい。
- ・スタッフの皆さん明るくやさしく対応してくれました。 ・とってもうれしく若返りました。 など

学術局からのお知らせ

本年度も半ばを越えて参りました。学術局の企画もその半数を終えております。後半の企画も、大変興味深いラインナップとなっておりますので、是非ご参加ください。

専門領域研究部では、10月に「身体活動に伴う呼吸循環応答～運動負荷試験の見方が変わる～」 「呼吸リハビリテーション」といった内部障害に関わる理学療法講習会を、11月に「観察による運動・動作分析 -身体運動学に基づいた分析法の臨床応用-」として我々の基本評価となる動作分析方法と「脳卒中者の歩行トレーニング」といった常に我々が悩んでいる課題について準備しております。どの研修会も、各領域で著名な先生方からご講義いただけますので、皆さんの糧になると信じております。各内容は例年開催している企画でもありますが、難易度は高いため、1度で理解できないかもしれません。知識定着のために、何度も受講することを推奨いたします。

学術大会部では、第21回の県学会を企画しております。前回に引き続き、理学療法ガイドラインを中心に企画を立てております。テーマは「変形性膝関節症」「糖尿病」とし、講師は共にガイドライン作成に携わった先生方です。興味深い話が聞けますので、楽しみにしててください。また、特別講演に藤澤宏幸先生を招聘しております。本年度、日本理学療法士協会の理事に当選され、ご尽力されております。今回は協会の話ではありませんが、専門とされている領域からテーマを「特定課題分析の意義と治療への道筋」とご依頼しております。日々の理学療法場に直結した内容であり、“いまから”使える知識となります。参加していただいて損はさせません。

また、協会は新たな生涯学習プログラムの構築を目指しております。これは理学療法士に求められる知識・技術の高まりが背景にあります。先生方も、常に研鑽の意識を持ち、取り組んでいたいただけますようお願いいたします。

最後に、研修会の無断欠席や直前でのキャンセルが多数生じております。定員制の研修会では、このような事案が散見されると、運営上の問題となりえます。のんびきならない事情もあることは理解していますので欠席連絡をしていただきたいと思います。そのほかは基本的に「登録したのであれば必ず参加する」ようにしてください。よろしくお願いいたします。

学術局局长 村上 賢一

専門領域研究部 (理学療法講習会)	会場	企画名
10月14日	東北文化学園大学	身体活動に伴う呼吸循環応答～運動負荷試験の見方が変わる～ 取得単位：生涯学習（ひとを対象とした基礎領域、呼吸）
10月28日	東北文化学園大学	呼吸リハビリテーション 取得単位：生涯学習（呼吸）
11月18日～19日	東北文化学園大学	観察による運動・動作分析 -身体運動学に基づいた分析法の臨床応用- 取得単位：生涯学習（ひとを対象とした基礎領域、脳卒中、運動器）
11月25日～26日	東北文化学園大学	脳卒中者の歩行トレーニング 取得単位：新プロ(C-1)、生涯学習（脳卒中） *生涯学習のポイントは10ポイント
学術大会部	会場	企画名
2月4日	東北文化学園大学	第21回宮城県理学療法学術大会 取得単位（予定）：新プロ（演題発表者C-6） 生涯学習（都道府県士会学術集会・学会参加10ポイント、発表者5ポイント）

【第21回宮城県理学療法学会大会】 開催のお知らせ

平成30年2月4日(日)、東北文化学園大学にて第21回宮城県理学療法学会大会が開催されます。多くの関係者の皆様の参加をお待ちしております。なお、会場には駐車場がございません。公共交通機関をご利用下さい(仙山線『国見駅』下車、徒歩1分)。

【会 期】平成30年2月4日(日)9:00～受付、9:50～開会式、

【会 場】東北文化学園大学(仙台市青葉区国見6-45-1)

【テーマ】エビデンスに基づく理学療法-臨床での理学療法診療ガイドラインの活用-
シリーズ第2回変形性膝関節症、糖尿病

【大会長】黒後裕彦(東北文化学園大学)

【準備委員長】山口倫生(公益社団法人地域医療振興協会公立黒川病院)

【事務局】〒981-3682黒川郡大和町吉岡字西松木60番地

公益社団法人地域医療振興協会公立黒川病院

【参加費】会員¥1,500一般¥3,000学生無料

(当日、昼食(¥500飲み物付き)の販売を致しております。ご利用下さい。)

【企 画】

特別講演

「特定課題分析の意義と治療への道すじ」

藤澤 宏幸先生 東北文化学園大学大学院

講演1

「理学療法診療ガイドラインの見かた」

鈴木 誠先生 東北文化学園大学

講演2

「変形性膝関節症理学療法診療ガイドライン」

金村 尚彦先生 埼玉県立大学

講演3

「糖尿病理学療法診療ガイドライン」

舟見 敬成先生 総合南東北病院

一般口述演題発表&職場紹介

* 演題登録が開始されております。多くの演題登録をお待ちしております。

演題登録期間:平成29年9月1日(金)午前9:00から10月31日(月)午後5:00まで

教育局からのお知らせ

教育局は生涯学習部と教育部、学術誌部にて構成されています。教育局の主な取り組みは、新人理学療法士教育の場の提供です。そのため、特に生涯学習部での「新人教育プログラム(新プロ)」の履修は大きな使命です。本年も5月と8月に実施しており、多くの新人理学療法士が受講しております。今後も10月に2度の新人教育プログラムの開講を予定しておりますので、新人理学療法士のみならず、まだ履修していない方は是非とも受講してください。依然として宮城県における新プロ修了率は全国平均を下回っております。新人教育プログラムに続く「認定理学療法士」、「専門理学療法士」の取得を目指すためにも、研鑽する機会として利用してください。

生涯学習部（新人教育プログラム）

日程	テーマ名・会場
平成29年 5月21日(日) *終了しました	A-1 (理学療法と倫理) A-2 (協会組織と生涯学習) A-5 (理学療法における関連法規) 会場：東北文化学園大学
平成29年 8月26日(土) *終了しました	A-3 (リスクマネジメント) A-4 (人間関係および接遇) B-1 (一時救命処置と基本処置) E-2 (コーチングとティーチング) 会場：東北文化学園大学
平成29年 10月15日(日)	9:00 - 10:00 B-2 (クリニカルリーズニング) 10:15 - 11:15 B-4 (症例報告・発表の仕方) 11:30 - 12:30 E-1 (臨床実習指導方法論) 13:10 - 14:10 D-1 (社会の中の理学療法) 14:25 - 15:25 D-4 (理学療法士のための医療政策論) 会場：東北文化学園大学1号館1階 階段教室
平成29年 10月29日(日)	9:00 - 10:00 B-3 (統計方法論) 10:15 - 11:15 E-3 (国際社会と理学療法) 11:30 - 12:30 D-3 (理学療法の研究方法論) 13:10 - 14:10 D-2 (生涯学習と理学療法の専門領域) 会場：東北文化学園大学1号館1階 階段教室

* 参加希望の方は、日本理学療法士協会マイページより研修会申し込み手続きを行なってください。なお、当日参加は受け付けられませんのでご注意ください。

地区担当局からのお知らせ

H29 年度中間活動報告

いつも宮城県理学療法士会の活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

今年度も各地区での横のつながりを強化する目的で多くの研修会が企画され、概ね予定通り運営されております。気仙沼・石巻・登米・太白名取地区で開催された研修会には20名～50名程度の方が参加され、地元で会員同士の顔の見える関係作りが進んでいることが実感できます。また会員同士の横のつながりにより、他のリハビリテーション専門職や地域包括支援センター、市町村所属の保健師など他職種とのつながりも生まれ、地域包括ケアの推進において理学療法士が頼られる存在になってきていると思います。

今後も各地区において様々な研修会が予定されています。地区によっては会員の学びたいテーマを聞き取って研修会を企画しています。地元で堅苦しくなく学べる場ですので、特に経験年数の浅い会員には一度足を運んで頂きたいと思います。各地区での研修会の詳細は士会HPをご確認ください。

地区担当局 担当理事 坪田朋子

政策検討委員会からのお知らせ

平成28年度より、県士会組織の中に政策検討委員会が設置されました。高齢者をはじめ、様々なハンディキャップを持たれている方々の豊かな生活を実現するために、理学療法士のサービスを提供できる体制を実現することを目的に設立した“日本理学療法士連盟”、宮城県理学療法士会の目的達成のために設立された“宮城県理学療法士連盟”、それら関連団体と宮城県理学療法士会を結ぶ役割を担うのが本委員会の役割です。具体的活動としては、日本理学療法士連盟主催役員研修会への参加(本年10月に開催された研修会では、平成30年診療介護報酬同時改訂と地方創生 Society 5.0の実現に向けて、がテーマとなりました)による情報収集と県士会への伝達及びアクションプランの提言、宮城県理学療法士連盟への活動や事業等の提案などが主なものです。

学術的活動や、明確な社会貢献的取組とは少し毛色の異なる委員会ですが、理学療法士が「将来なくなってしまうかも知れない職業」とならないように、委員会としても今後学びの場を設けていきたいと考えています。本委員会の活動にご興味を持たれた方、是非一緒に学びましょう！

政策検討委員会 委員長 榊 望

宮城県リハビリテーション専門職協会からのお知らせ

市町村委託事業が始まりました!!

昨年度設立されました宮城県リハビリテーション専門職協会は今年度、様々な依頼を頂いております。

市区町村委託事業としましては仙台市、多賀城市、岩沼市から委託事業の依頼があり、(一社)宮城県作業療法士会、宮城県言語聴覚士会と協働し事業に取り組んでおります。その他、市町村で行われる地域包括ケアシステム推進に関する研修会、東北大学公開シンポジウム、介護保険推進全国サミット in いわぬま等々、名義後援も含めて受ける依頼は多くなっております。来年度もますますリハ職に対するニーズが高くなることが予測され、宮城県リハビリテーション専門職協会としても今後、人材育成に関する研修会等の企画を検討していきたいと考えております。市町村からの委託事業について、医療機関、施設のセラピストの皆様方、養成校教員の皆様方へ事業への御協力をお願いする事も増えるかと思いますが、御理解、御協力の程何卒宜しくお願い申し上げます。

宮城県リハビリテーション専門職協会

事務局長 櫻井 健太郎

3職種リハ振興委員会からの報告

宮城県地域リハビリテーション研修会を開催しました

昨年度まで「訪問リハ実務者研修会」という名称だったPT・OT・ST 合同の研修会ですが、今年度はより多くの方々に興味を持っていただきたいという想いで「地域リハビリテーション研修会」という名称に変更し、7月22日～23日に仙台市障害者総合支援センターを会場に開催しました。

講義内容は「生活動作と動作分析(藤澤宏幸先生/PT)」、「リハで筋肉を減らさない栄養管理とは(塩野崎淳子先生/管理栄養士)」、「リスク管理(千葉明日香先生/医師)」、「福祉用具とそれを取り巻く現状について(後藤美枝先生/PT)」、「仕事と生活に役立つ薬の話(小坂浩之先生/薬剤師)」、そして症例報告、グループワークと、2日間で10時間、盛りだくさんの内容でした。

この研修会は、地域リハの経験のない方の参加も多数あります。来年度以降も継続して開催予定ですので、ぜひご参加ください。

3職種リハ振興委員会 阿部功

国際車いすテニス大会仙台オープン 2017 活動報告

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催まであと3年となり、これまで以上に、国民のスポーツに対する関心は、オリンピックのみならず、パラリンピックにも向けられている中、平成29年8月3日(木)～6日(日)までの4日間、仙台市泉区にあるシェルコム仙台にて、『第23回国際車いすテニス大会 仙台オープン 2017』が開催されました。

今回も、多くの会員皆様はじめ、理学療法士養成校の学生ボランティアのご協力のもと、宮城県理学療法士会健康増進支援部では、会場内にコンディショニングルームを開設し、ゲーム前後の選手のコンディショニングをさせていただきました。ご協力いただいた皆様に、この場をお借りし感謝申し上げます。

毎回、伊藤超短波株式会社様より、各種物理療法機器をご提供いただき、選手のコンディショニングに物理療法を活用させていただいておりますが、今回は、選手の健康と競技力向上に対して寄与できるサービスとして、新たに、東北福祉大学の齋木しゅう子先生のご協力とご指導により、選手の呼吸機能評価と徒手筋力計による上肢筋力測定、また、Inbody Japan様から、背臥位でも測定可能で、かつ切断肢があっても測定できる体組成計をお借りし、メディカルチェックをご希望される選手に行いました。ご利用いただいた選手からは、ぜひ継続してほしいとのご要望いただいております。健康増進支援部では、スポーツ支援活動を継続して参りますので、今後も会員皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



宮城県理学療法士会
健康増進支援部長 千葉 渉

作業療法フェスタ2017 OTってなあに?に参加して

平成29年9月18日

この度、作業療法フェスタ2017に介護予防推進部員として参加しました。テーマは「OTってなあに?」。宮城県作業療法士会の活動紹介をはじめ、作業療法士(OT)がどういった職業かを市民の方に知ってもらうきっかけとなるイベントでした。

会場には多数のブースが設けられ、革細工のコースター作りや、電動車椅子、自助具などの福祉用具の体験が行われました。小さな子供から高齢の方まで、楽しそうにコースターの模様打ちや車椅子体験をされていました。そういった姿に、物や環境に働きかけ、対象者のこころ・からだを動かす作業療法士の強みを感じました。実際に私も各体験を行い、楽しむことができました。

理学療法士会の紹介コーナーでは、まず理学療法士とはどういった職業か、どのような役割でどんな場所で働いているかなどをお話しさせて頂きました。その後に、ご来場の方々に向け、介護予防体操『元気モリモリがんばっぺ体操』を行いました。道行く方の中には足を止め、体操に参加されている方もおり、大変うれしく思いました。この体操をきっかけに自身の身体や、介護予防に興味を持って頂けると幸いです。

イベント全体を通して、市民の方に作業療法士、延いてはリハビリに関わる職種について知ってもらう良い機会となったと思います。私自身も作業療法士会の活動や作業の楽しさを知ることができ、貴重な経験となりました。今後、地域包括ケアシステムが進められていく中で多職種連携は必須であり、お互いの職域や役割について理解を深めることは重要だと感じます。日々のコミュニケーションから連携を強化し、リハビリテーションの質の向上、住みよい地域づくりに貢献できればと思います。



宮城県理学療法士会
介護予防推進部 佐藤大樹

地域包括ケア人材育成委員会からのお知らせ

知っていますか？

地域包括ケア推進リーダー 介護予防推進リーダー

日本理学療法士協会では、これからの高齢化社会を支える『地域包括ケアシステム』を推進するにあたって、「地域ケア会議」、「介護予防」の2つの施策に重点を置き、地域包括ケアシステムに関わることのできる理学療法士の育成を推進しています。

【地域包括ケア推進リーダー】

<目指すリーダー像>

- 当面は、地域ケア会議の目的を踏まえた上で、会議に参加し、自立支援に繋げる助言ができる
- 最終的には、理学療法士の強みを生かして総合的に地域包括ケアを推進できる

【介護予防推進リーダー】

<目指すリーダー像>

- 理学療法士としての専門性を活かした評価ができる
- 効果的な予防プログラムを企画・提案ができる
- 多職種や住民との協働による予防プログラムを企画・提案ができる

平成30年度から県内各地域で地域包括ケアシステムが本格的に動き始め、地域の中で助言・提案ができる人材の育成が必要となっているのです。

1) 今回はこの推進リーダー取得の流れについて説明します。

履修前提条件: 新人教育プログラムが終了していること

① 日本理学療法士協会マイページ上から、登録申請(エントリー)する
※地域包括ケア、介護予防推進リーダーの両方の同時登録可

② 下記3項目を終了すること

- e-ラーニングの受講
- 導入研修の受講
- 士会指定事業の参加

※受講の順番に注意(右参照)

必ず、e-ラーニング終了後の導入研修履修をお願い致します

※e-ラーニング免除になる方もいます

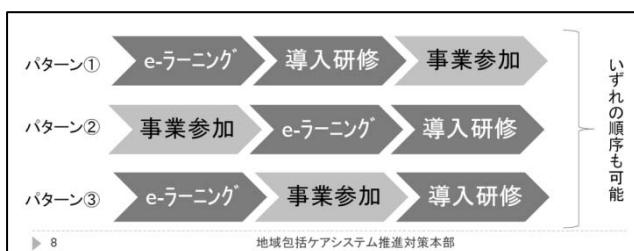
2) 本年度の宮城県理学療法士会での開催スケジュール

導入研修・・・平成29年12月中旬予定(地域包括ケア推進リーダーのみ)

指定事業・・・11月に行われる仙台市介護予防月間へのイベント参加、県士会総会

その他については、随時アナウンス予定

各リーダー取得を目指す方は計画的に申請・学習をお願いいたします。



地域包括ケア人材育成委員会
吉田 望・高橋 利幸

「宮城県内部障害リハビリテーション研究会(MIRS)」 の活動報告

宮城県内部障害リハビリテーション研究会が本年4月に立ち上げとなり、会員の皆様にも多大なるご支援を頂戴しております。まずは、書面を持ちまして感謝申し上げます。

第1回研修会では、急性期リハビリテーション分野にてご活躍されている市立函館病院の山下康次先生をお招きし、約80名の皆さまにご参加いただきました。また、第2回研修会はMIRS会長の東北文化学園大学、高橋一揮が「呼吸生理と呼吸リハビリテーション」を、副会長の東北大学病院、竹内雅史が「循環器領域のリハビリテーション」の講演をそれぞれ行い、約40名の皆さまにお集まりいただきました。今後も内部障害の啓蒙と啓発を目標に開催させていただきます。

MIRSの活動はHPにて紹介しておりますので、興味のある方は是非覗いてみてください。次回は2018年1月20日の開催を予定しておりますので皆様方のご参加を心よりお待ちしております。今後とも宮城県内部障害リハビリテーション研究会をどうぞ宜しくお願いいたします。



第1回研修会(H29.4.15開催)

宮城県内部障害リハビリテーション研究会
会長 高橋 一揮(東北文化学園大学)

HP: <https://mirs-tohoku.jimdo.com/>

E-mail: mirs.tohoku@gmail.com (事務局長 横田 純一 仙台医療センター)



広報部広報班からのお知らせ

広報班では研修会などのご案内を GIMP ニュースとして会員各施設に FAX で配信しております。現在 FAX が届いていない施設や登録番号が変更された施設の代表者の方はお手数ですが、下記までご連絡頂きますようご案内申し上げます。

また代表者(宛名)が変わられた施設もご連絡頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

宮城県理学療法士会 広報部広報班

宛 先: 〒981-3341 富谷市成田1丁目3-1

仙台リハビリテーション病院 リハビリテーション部 佐々木友也 石山 歩

TEL : 022-351-8118 FAX : 022-351-8126

E-mail: news.edit@pt-miyagi.org

会員からのご寄稿

鈴木一先生は、東北大学で臨床に携われ、その後現在の東北文化学園大学の前身である東北医療福祉専門学校において教鞭をとられておりました。また宮城県理学療法士会の設立にもご尽力され、これまで当会の発展に多大なるご活躍いただいております。

第二代会長(初代は山上弘義先生)の任に当たられ、宮城県で行われた第18回全国研修会の研修会長をなされました。

先日、先生より当会にお手紙をいただきました。

先生の奥様への愛情の深さや、知人や理学療法士に対する思いに触れさせていただき、大変感銘をいたしました。

会員諸氏にも読んで頂きたいとの思いから、鈴木一先生のご承諾をいただき掲載いたしました。

会長 渡邊好孝

亡妻の十三回忌に当たって

超高齢八十二歳の想い

歳を取るとは広辞苑によると年齢が加わること。年齢が増す。また、老齢になるとある。

歳を取るとは残された寿命（齢〃よわい）を一年毎に取られ少なくなる想いを覚えます。

加齢と共に年月日々の経つのが速く感じます。

この感覚を『年齢時速』と表現されています。

現在私は年齢時速八十二キロメートルの速度で走行しています。残された齢を有意義に楽しく送りたいと考えています。

この稿は亡妻節子の十三回忌法要に当たって纏めたものです。

平成二十三年八月七回忌法要を作並温泉ホテル一泊で行いました。同年三月東日本大震災から、

六年経ちました。被災された方々は最愛の人を失った家族の悲しみが続いていられると存じます。

この六年間に二十五年十二月、実弟 仁七十五歳で急死しました。翌年八月親友今野卓ちゃんに相次いで七十六歳で他界され寂しさを覚えました。

亡妻の七回忌法要でプロ野球巨人対阪神戦について夜遅くまで二人で、何方も譲らず議論していたのが懐かしく想い出します。

今年五月三十日自家用車で義弟与一と実妹啓子と二人で山形県小国町の山間に山菜取りに行き、妹啓子は膝に痛みあり車内で夜通し待機し帰りを待っていました。三十一日朝から山形県警の

ヘリコプターで捜索を受けました。小川に転落し死亡している処を発見されました。義弟与一の突然の急死に本当に驚きました。

専門学校で理学療法士教育にご協力を戴いた

指導者飯田健寿（たけとし）氏が六十五歳で他界されました。次いで五十嵐俊光氏七十八歳の二人を相継いで他界されました。若くして先立たれことが心理的に衝撃（ショック）を覚えました。

超高齢八十二歳で想うこと

家族と一緒に居られる時間は、

もうそんなに永くない。

義妹と一緒に過ごせる時間は、

もうそんなに永くない。

愛するもの（器物、ペットなど）と一緒に

居られる時間はもうそんなに永くない。

就寝、床に就くと想い出します。

認知症防止目的で読売新聞に掲載された物故者、

有名人の年齢、役職、業績、死因の統計、記録を、

平成十八年十月に開始し、十一年十か月続けてい

ます。七月現在、六千二百九十二人に達しました。

死因を統計で見ると肺炎が千二百五十人（21.5%）。心不全が千六十七人（17.0%）になりました。

新生物（腫瘍）、千六百九十四人（26.9%）です。

診断名で見ると肺癌が三百七十人（5.9%）。膵臓癌

が百九十五人（3.1%）。胃癌百八十一人（2.9%）の

順で他界され、老衰（自然死）五百十五人（8.2%）

が安楽に他界しています。吾輩も安楽に逝きたい。

昨年十二月三十一日付けで一関市介護老人保健

施設のお手伝いを退職致しました。十六年六か月

に渡り人生の生き様を学びました。高齢者の延命

治療、胃瘻増設（胃部に管を挿入し栄養を補給す

る装置）を受け、生かされている状態の方々を担

当しました。人工呼吸器セット、胃瘻増設を受け

無意識状態で年月を過ごしている状態を体験し、

延命治療について深く考えさせられました。

永年努めた業務を終え、正月より悠々自適に過

ごして居ります。好きなガーディニング（野菜作り）とチビ（チワワ）の散歩を日課にしています。今年、キウイと花梨が豊作です。冬瓜（夕顔）も豊作で重さ四・五キログラムの冬瓜が十本ほど成長しています。

プロ野球、楽天の好成績が続いていますが、巨人の成績が低く勝率五割の目標に期待している。各球団の勝敗数と勝率、順位を記録し、各球団の試合結果を記録し毎日統計を取り楽しんでいきます。

未だ、酒は呑めるし健康寿命に感謝し過ごしていきます。

四年後亡妻の十七回忌法要で再会できることを期待して挨拶しました。

平成二十九年七月十六日

平成二十九年八月二十五日

宮城県士会 理学療法士 鈴木 一

平成29年度 宮城県理学療法士会 役員名簿

部局		氏名	勤務先	
理事	会長	渡邊 好孝	医療法人松田会 医療法人光友会アルパイン川崎	
	副会長 (社会・地区担当局担当)	三浦 幸一	国立病院機構 仙台西多賀病院	
	副会長 (事務・財務・事業局担当)	藤野 隆喜	東北労災病院	
	副会長 (学術・教育局担当)	黒後 裕彦	東北文化学園大学	
	副会長 (委員会担当)	神 望	仙台リハビリテーション病院	
	理事	事務局担当	高橋 利幸	介護老人保健施設 エパーグリーン・イズミ
	理事	事業局長	櫻井健太郎	仙台東脳神経外科病院
	理事	財務局長	新山 正都	大和町たかはし整形外科クリニック
	理事	学術局長	村上 賢一	東北文化学園大学
	理事	教育局長	高橋 一揮	東北文化学園大学
	理事	社会局長	阿部 功	総合南東北病院
	理事	地区担当局長	坪田 朋子	自宅
監事	監事	田中 文男	自宅	
	監事	永井 淳一	自宅	
	監事	遠藤 伸也	齋藤病院	
事務局	総務部	総務班 (部長)	高橋 利幸	
		会員管理班	加藤 佐市	仙台市南部発達相談支援センター
	広報部	渉外班 (部長)	渡邊 広枝	東北労災病院
		広報班	佐々木友也	仙台リハビリテーション病院
事業局	公益事業管理部 士会事業管理部	部長	櫻井健太郎	
財務局	会計部 (部長)	古山 智子	自宅	
学術局	学術大会部 (部長)	鈴木 誠	東北文化学園大学	
	専門領域研究部	神経理学療法研究班	村上 賢一	
		運動器理学療法研究班 (部長)	坂上 尚穂	仙台青葉学院短期大学
		内部障害理学療法研究班	藤村 伸	東北医科薬科大学病院
		物理療法研究班	横塚美恵子	東北文化学園大学
		地域理学療法研究班	桂 理江子	東北文化学園大学
		教育理学療法研究班	鈴木 誠	
教育局	学術誌部 (部長)	高橋 一揮		
	教育部 (部長)	阿部 玄治	東北文化学園大学	
	生涯学習部 (部長)	鋤明佳代子	東北文化学園大学	
	健康増進支援部 (部長)	千葉 涉	松田病院	
	介護予防推進部 (部長)	菅野 良	塩釜市立病院	
	医療保険部 (部長)	金子亮太郎	松田病院	
	介護保険部 (部長)	阿部 功		
地区担当局	県南地区	安孫子 洋	総合南東北病院	
	太白名取地区	高島 悠次	長町病院	
	青葉泉地区	坪田 朋子		
	宮城野若林地区	高島 悠次		
	大崎栗原地区	門脇 敬	大崎市民病院鳴子温泉分院	
	石巻登米地区	福原 浩之	石巻ロイヤル病院	
	気仙沼地区	小野寺裕志	気仙沼訪問リハビリステーション	
常設委員会	災害支援対策委員会	坪田 朋子 (委員長)		
	組織検討委員会	神 望 (委員長)		
	スポーツ医科学推進委員会	小野寺真哉 (委員長)	仙台北部整形外科	
	3職種リハ振興委員会	阿部 功 (委員長)		
	地域包括ケア人材育成委員会	神 望 (委員長)		
	政策検討委員会	神 望 (委員長)		

特別委員会	選挙管理委員会		舟山 伸利	仙台赤十字病院	
			小石川紀男	杜都中央病院	
	東京オリパラ委員会		千葉 渉		
選出委員	日本理学療法士協会代議員		渡邊 好孝		
			黒後 裕彦		
			三浦 幸一		
			榭 望		
			坪田 朋子		
	東北ブロック協議会	理事		渡邊 好孝	
				榭 望	
		学術局学会部		小林 武	東北文化学園大学
		学術局機関紙編集部		芝崎 淳	総合南東北病院
		学術局教育研修部		川上 真吾	仙台リハビリテーション病院

県士会ニュースおよびホームページへの掲載依頼について

県士会ニュースと県士会ホームページへ掲載を依頼される場合は、広報部広報班までご連絡ください。原稿は、WORDまたはテキスト形式を基本とします。PDFファイルへも対応は可能ですが、適切に印刷(掲示)されない場合があります。また掲載が適切ではないと判断された場合には、ご意向に添いかねることもありますのでご了承ください。

またご不明な点やご希望等ございましたら、下記までご連絡ください。

宮城県理学療法士会 広報部広報班

宛 先：〒981-3341 富谷市成田1丁目3-1

仙台リハビリテーション病院 リハビリテーション部 佐々木友也 石山 歩

TEL : 022-351-8118 FAX : 022-351-8126

E-mail: news.edit@pt-miyagi.org

次号県士会ニュース締切： 平成30年2月28日まで

発行日： 平成29年10月31日

発行： 宮城県理学療法士会

代表者： 渡邊 好孝

編集： 佐々木友也 石山 歩

印刷： 合同会社P・プログレス

〒983-0021 仙台市宮城野区田子 2-33-17-105

